

公民館だより さくらぎ

平成19年10月号

No. 235

桜木公民館

周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp

伝達訓練

8:00 南海地震発生!

- ・市内最大震度6弱!
- ・各自避難場所に避難せよ!

防災力を磨く!

周南市、桜木地区自治会連合会、桜木地区自主防災協議会の三者共催による周南市総合防災訓練が、9月1日「防災の日」に桜木小学校を主会場に開催されました。

7項目にわたる訓練の直接体験や、埋没車両からの救出活動等を見学しました。

回を重ねるごとに地区住民の防災力は着実に高まってきました。

救護訓練



炊き出し訓練

避難訓練

報告訓練



給水訓練



敬老の日祝賀行事

9/17

9月の活動記録簿



75才以上の方々をお誘いしたところ、181人のお元気な顔がそろいました。



おめでとう
おめでとう
おめでとう
おめでとう
おめでとう
おめでとう



住所と名前だけの自己紹介に会場から大きな拍手がわきおこりました。



子どもから心のこもったお手紙が、手渡されました。



9/20 老連社会奉仕活動の日
(城西寿会の活動風景)
地域の住民にお手本を示す教示の場です



9/24・25 専用駐車場の除草作業
有志による和やかな雰囲気
が特色、女性の飛び入りで柔らかさ倍増



花壇コンクール
第一次審査 (8/23)
第二次審査 (9/20)
【評】花の種類が多く、
長期間、美しく咲いている

桜木小学校運動会
9/22
40匹のムカデが
30周年を祝いました





運営委員さんによる
講座紹介

《リレー方式》

『ツールペイント』

次回は...

ツールペイント講座は今年で二年目になります。最初は絵心がなかったら出来ないのかなと思いましたが、下絵を写して、ぬり方を教えてもらって、いろいろな色を重ねていき、最後は個性が出て、同じ物を書いても、みんな違ってみんないいという感じでした。先生の親切で、やさしい指導のお陰で、みんな和気合い合いで、三時間があっという間に過ぎ、楽しんでいきます。休憩時間に色々な話をするのも又楽しみの一つです。その後又、集中して頑張ります。素材は、木・布・瓶・缶と色々な物に描く事が出来ますので、色々楽しめます。今年の10月20日・21日の文化祭には今年の作品を是非見に来て頂けたら嬉しく思います。お待ちしております。

(運営委員 山本 弘子 記)

開催日時

毎月第1・3水曜日

午後1時30分 ～ 4時30分

さくらぎ秋の祭り

桜木フェスタ・文化祭 ご案内

10月20日(土)・21日(日)

会場 桜木小学校

展示作品募集!

10/9迄

体育館～作品展示・ミニ体験コーナー
 野外特設ステージ～発表会
 模擬店・各種バザー・ミニ動物園等

10月の公民館花壇



コリウス

見どころポイント!

シソ科コリウス属の植物です。花というよりも、葉の「色」や「形」に変化があることで楽しめます。市販されている小さい鉢苗を3種類仕入れてきて、公民館で挿し木して育てて来ました。今では、プランターでよく育ち、公民館の玄関周辺を彩りよく飾ってくれています。花も咲きますが、早めに摘み取ってしまう方が良さそうです。

ラジオ体操 (城ヶ丘公園)

8月度皆勤賞は左記のとおりです。

「敬称略」

河村	かなみ (城2)	河村	京子 (城2)
竹田	圭子 (城5)	国兼	トシ子 (城2)
桑原	利行 (城2)	末田	芙美子 (城4)
横山	時子 (城4)	岩本	和子 (城5)
石井	芳子 (城5)	古谷	幸子 (城4)
古谷	清 (城4)	畑野	久雄 (城2)
河津	努 (平原)	小宮	太陽 (城5)
田村	茉由佳 (城4)	松田	純子 (城2)
松田	正治 (城2)		

※9月も実施する予定でしたが、諸般の事情により中止しましたことをお詫び申し上げます。

(桜木地区コミュニティ)

10月 さくらぎカレンダー

- 2日 (火) さわやか女性教室《手づくりパン》
- 9日 (火) さわやか女性教室《講演会》

「見えないものを観る」

『いい人は、いいね』

うつくしい日本 川端康成の世界

講師 鈴木 隆子 先生

どなたでも受講できます!

- 18日 (木) 資源物回収 (老連)
- 20日 (土)・21日 (日) 桜木フェスタ・文化祭
- 23日 (火) さわやか女性教室《エコクラフト》
- 28日 (日) 地区バドミントン大会
- 29日 (月) 向道湖福祉農園作業 [老連]
- 30日 (火) さわやか女性教室《押し花》

《俳句コーナー》

- ・新米に ひとりの膳も 食の増す
- ・土竜除け 田岸を埋む 曼珠沙華
- ・秋天を 貸し切つて飛ぶ 竹とんぼ
- ・実習田 声のはじけて 稲を刈る
- ・草叢は 虫のステージ 客ひとり

(一洋)

【 雑記帳 】

今年の記録破りの猛暑が、とおの山の山頂の記載簿「やまびこ2号」に次のような二つの声を残しました。(抜粋)

8月25日

山登りこんなにキツかった?
まちエライわあ、
でもみんなのいい思い出。最高やあ、
夜景まちキレイ。目に焼きつくるぞー!!
花火は? ないのかー!!!!

8月26日

今まで、とおの山の頂上に来てこんなにきた
ない時を見た事ありません!!
一つ一つのゴミ(コーヒーカーフ、おむすび
のセロファン)あたり一面に... 特にタバコ
のすいながら(たぐさん)、笹の葉をまよしたり(あ
ぶない)
一人一つでも百人いれば百。自分一人位と
思うのでしょけど... こんなことをする
人は登る資格はないと思います。

今日は涙の出た頂上でした。散らばっている
のを一つ一つひらきながら...
今夜こそとおの山の頂上こそこみ一つない事
を願っています。(下松市花岡 64才)

目の届き難いとおの山の美観を守るこ
とができるのでしょうか?
とおの山に一歩足を踏み入れた途端、新
鮮ですがすがしい山の香りを感じられた
方は多いことでしょう。この香りの正体
は、植物から発散されるフィトンチッドと
呼ばれる物質で、殺菌力を持ち、森林浴の
効用にあげられているほどです。とおの山
を愛する桜木の住民は、この素朴な香りを
誰よりも多く吸収しているはず。天の
恵みを体内で大切にため、何倍にも膨
らませて美観を守る大きな力にしたいも
のです。